

## 社会で活躍する社会調査士

成蹊大学 2018年卒業  
日本電設工業株式会社 横浜支社 総務課勤務※  
橋本健太郎さん



私の所属する総務課では、鉄道電気設備工事の経営計画や勤務時間の実績・見込値の入力などを行っています。そのため、社内には膨大な量の過去データが存在しています。しかし、ただ数字の羅列を眺めるだけでは、業績向上や働き方の改善にはつながりません。そんなとき社会調査で学んだ、データを正しく読み取り、仮説を立て、実証的に分析するという方法が役に立っています。

たとえば、当社には新入社員教育の一環として、論文コンクールへの参加があります。私は「幸福な建設現場の朝礼」というタイトルで、働き方の提案を行いました。問いを設定したのち、「こうだろうか」と見直しをつけて仮説を立て、原因と結果の考察を繰り返し、書き上げた論文で、第41回フレッシュヤーズ産業論文コンクールの優良賞を受賞することができました。また、就職活動での情報収集・情報整理や、入社してからの統計分析のスキルは、社会調査を学ばなければ得られないものだったでしょう。各分野で、一人でも多くの社会調査士が活躍することを願っています。



横浜国立大学 2016年卒業  
農林水産省統計部 経営・構造統計課 企画班勤務※  
小林 葵さん



私が所属する経営・構造統計課では、農林漁業の経営収支や生産コストなどの「経済」に関する部分をとりまとめて公表しています。農林漁家の方がたは毎日お忙しく働いておられます。その合間をぬって、継続的に調査票に記帳してもらうにはどうすればよいのか。私は、調査票を考案するワーキングチームで、調査の精度を保ちつつ、協力してくださるみなさんの負担が少なくなるような調査票について日々考えています。こんなとき、社会調査の基礎的な知識や、調査した経験が、業務を行ううえでの基盤となっています。

採用面接においては、社会調査士について説明する場面がななどありました。そのようなとき、私は、「社会調査士は、調査の企画・設計、データ収集から分析、統計データの作成から活用までを、たしかに実践したことを保証してくれる資格である」と説明しました。それにより、学生時代に統計をひととおり学んだことが評価され、現在の職場に採用される一助になったと思います。統計の価値があらためて注目を集めるいま、ぜひこの資格を就活を勝ち抜く武器にしてください。

※勤務先は執筆時



選挙結果の事前予測、コンビニのPOSシステム、スマホの位置情報収集……。私たちは膨大な情報にあふれる社会で、日々さまざまなデータに囲まれて暮らしています。そのほかにもカードによる購買記録、TVの視聴率調査、国勢調査などの情報は、私たちが知らないところで、国や企業の重要な方針を決める判断基準として利用されています。日本の未来の年金にも影響を与える国政選挙から、日々のささいな買い物に至るまで、社会調査で得たデータや分析結果は、社会に広く、そして将来にわたって長く、また大きな影響を与えます。にもかかわらず、そのデータの根拠となる社会調査がどのように計画・実施され、どのような方法で分析されているのかをみなさんは、ご存知でしょうか。おそらく、多くの人は正しい知識をもっていないのではないのでしょうか。

どのように調査対象者を決めるのか。アンケートの質問文はどのようにつくられるのか。どのような手順で分析するのか。こうした「？」に答えられる社会調査の専門知識を身につけたエキスパート。それを証明するのが、社会調査士資格なのです。

### 一般社団法人 社会調査協会

〒113-0033  
東京都文京区本郷 5-25-18-3F  
TEL 03-6273-9784 FAX 03-5684-0374  
Email sck.main@jasr.or.jp  
URL <https://jasr.or.jp/students/>



# 調査のエキスパートになる!

情報社会で活かす  
社会調査士資格



一般社団法人  
**社会調査協会**  
Japanese Association for Social Research

